

2019年1月1日～2022年12月31日の間に 心停止となり蘇生後治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「院外心停止蘇生後患者におけるCT所見と予後に関する検討」へご協力をお願い—

研究機関名	岡山大学病院	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究機関長	病院長 前田 嘉信、研究科長 伊達 勲	
研究責任者	岡山大学病院 救命救急科 研究助教 本郷 貴識	
研究分担者		
	岡山大学病院 放射線科 助教 川端 隆寛	
	岡山大学病院 救命救急科 講師 湯本 哲也	
	岡山大学病院 救命救急科 准教授 内藤 宏道	
	岡山大学病院 救命救急科 教授 中尾 篤典	

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

心停止患者さんは、心拍が再開しても永続的かつ広範囲な脳の障害がおき社会復帰にいたらない患者さんが多数おられます。神経予後予測は医療従事者だけではなく、患者さんまたはその周囲の家族にとっても重大な関心事だと思えます。様々な予後予測の方法が検討されていますが確立された方法は存在していません。一般的に脳神経学的予後の悪い蘇生後の患者さんは頭部CTで脳浮腫の所見があります。しかしながら超急性期の撮影では脳浮腫が顕著でなく、感度・特異度が十分でないため頭部CTのみでの予後予測は推奨されていません。一方、蘇生後患者さんでは腸にも同様に蘇生後の影響で、腸管浮腫、壁肥厚、腸管気腫等が生じることがあります。腸は脳と同様に、蘇生後に臓器障害を受けやすい臓器であり、来院時の腹部CT所見も予後予測と関連がある可能性があります。本研究の目的は、ICUに入室した心停止蘇生後患者さんにおいて放来院時CT検査所見に基づき、脳神経学的予後評価が可能であるか検討することです。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

心停止患者さんにおける予後予測に貢献できる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2019年1月1日～2022年12月31日の間に岡山大学病院へ搬送された院外心停止された方のうち、成人例で心拍再開し集中治療管理した方200例を研究対象とします。

2) 研究期間

研究機関の長の許可日～2028年3月31日

3) 研究方法

2019年1月1日～2022年12月31日の間に当院において心停止となり蘇生後治療を受けられた患者さんで、来院時に撮影された頭部CTと腹部CTの所見を放射線科医と救急医により記録します。これらのデータをもとに、脳神経学的予後評価の関連要因を求め、予後予測モデルを算出します。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

診療情報：

- ・患者情報(年齢、性別、身体所見)
- ・救急搬送のに関する情報
- ・初療時の採血、処置の情報
- ・心停止後の画像評価の情報
- ・集中治療室での処置の情報
- ・救急搬送後の転帰

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院救急医学医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

この研究は学会や論文で発表しますので、ご了解ください。あなたの氏名、生年月日などの情報は既に削除、匿名化されています。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。またあなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 救命救急科

氏名：本郷 貴識

電話：086-235-7427（平日：8時30分～17時00分）